

患者さんへ

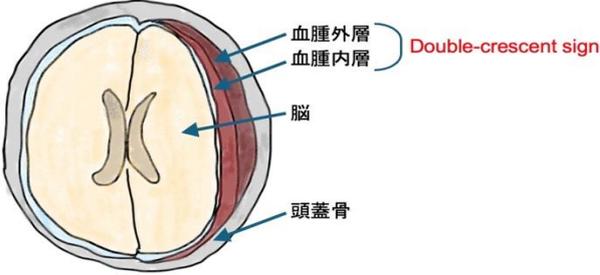
慢性硬膜下血腫術後再発因子としての Double-crescent sign*に関する検討

* Double-crescent signとは、慢性硬膜下血腫の術後コンピュータ断層撮影（CT）にて血腫が2層性を呈する所見をいいます。

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	札幌東徳洲会病院にて、2019年1月～2023年12月に慢性硬膜下血腫に対して穿頭洗浄術を行った方を対象としています。
2 研究目的・方法	慢性硬膜下血腫術後再発因子としての Double-crescent sign（下図）の有用性を検証するために、既に得られている診療録の情報から背景や病歴情報等を調査します。  研究の期間：施設院長許可（2024年7月予定）後～2025年12月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	1 研究対象者背景（年齢、性別、体重、家族歴、喫煙歴、生活歴等） 2 病歴情報（原疾患、既往歴、転帰内容（再発の有無を含む）、薬剤歴等） 3 入院中のCT（Double-crescent signの出現の有無）、磁気共鳴画像（MRI）、採血所見等
5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 札幌東徳洲会病院 脳神経外科 高野 琢磨（研究責任者） 住所：札幌市東区北33条東14丁目3番1号 電話番号：011-722-1110（代表）